

講習会；繰り返された能登半島地震－情景に潜む地震痕跡，未来への教訓－

開催日時；2025 年 10 月 29 日 13 時 30 分～17 時 00 分
会 場；土木学会館講堂 +Zoom ウェビナーのハイブリッド形式
参加申し込み先；土木学会の本部主催行事の参加申込より

講習会参加費（テキスト含む）；
土木学会員 4,000 円，非会員 5,000 円，学生会員 2,000 円
テキスト；続・地盤は悪夢を知っていたー地盤に残る地震痕跡ー
（講習会に参加出来ない方もテキストの書籍は購入いただけます。）

書籍購入先



講習会プログラム

前半の部 13 時 30 分～15 時 30 分

13:30-13:40 開会の挨拶及び趣旨説明 池田 隆明
(小委員会委員長 / 長岡技術科学大学 教授)

13:40-14:40 防災庁に期待！！オールジャパン防災情報システムへの提言
～実動機関連携の国家プロジェクトを踏まえて～
防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター 研究統括 伊勢 正

14:40-15:30 能登の地に立ってー令和 6 年地震復旧工事の記録と学び
講演 20 分；国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所 建設監督官 相川 雅央
対談 30 分；相川 雅央（上掲）
松永 昭吾（小委員会委員 / 横浜国立大学総合学術高等研究院 客員教授）
渡邊 祥庸（小委員会委員 / 群馬工業高等専門学校 助教）

午後の部 15 時 40 分～17 時 00 分

15:40-16:40 地震痕跡を読み解く－復興・維持管理，防災への活用を考える－
講演 20 分；東京大学 名誉教授 小長井 一男（小委員会委員）
対談 30 分；小長井 一男（上掲）
室谷 智子（国立科学博物館理学研究部 グループ長）
清田 隆（小委員会委員 / 東京大学生産技術研究所 教授）
吉見 雅行（小委員会委員 / 産業技術総合研究所 主任研究員）

【講演者の略歴】

伊勢 正 氏

防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター 研究統括

大阪府出身。災害発生直後の現地入りにより、熊本地震や能登半島地震など多数の大規模災害現場で災害情報システムの実態、活用状況を調査。2023 年 10 月より現職。防災科学技術研究所にて災害情報の標準化・共有・利活用の研究開発に取り組むほか、陸上自衛隊教育訓練研究本部客員研究員としても活動中。能登半島地震では馳知事らと共に陸自ヘリで金沢入り。博士（情報学・京都大学）。

相川 雅央 氏

国土交通省北陸地方整備局 能登復興事務所建設監督官

福岡県出身。平成 8 年に旧建設省へ入省し、ダムや河川事業を経験。熊本地震では国道 3 号の現地調査を行い、県道 28 号の権限代行チームにも参画。九州地方整備局福岡国道事務所計画課を経て令和 6 年 4 月より現職。国道 249 号権限代行東側工区を主に担当し、海岸隆起部を活用した応急復旧道路の整備に従事。現在は法面工事など本復旧に向けた工事を進めている。

【ゲストパネリストの略歴】

室谷 智子 氏

国立科学博物館理学研究部 グループ長

地震波形や津波波形を使用した過去の大地震の断層パラメータ解析や主に明治から昭和初期にかけての地震資料調査のほか、地震学以外にも気象学、測地学など地球物理学分野に関する観測機器や資料の収集・保存、博物館展示の監修に従事している。博士（理学，東京大学）